

スマート窓口機能要件

システム機能	機能項目	機能要件
インターネット事前申請・手続き案内機能	申請情報入力	市民が来庁前に、自宅のパソコンやスマートフォンを利用して異動届出と証明書発行に関する情報入力が行えること。 また、番号札発行前に、タブレットを利用して異動届出と証明書発行に関する情報入力が行えること。
	手続き案内	市民が来庁前に、自宅パソコンやスマートフォンを利用して手続き案内のためのかんたんな質問に回答することで、窓口や持ち物等の案内を参照できること。 また、番号札発行前に、タブレットを利用して手続き案内のためのかんたんな質問に回答することで、窓口や持ち物等の案内を参照できること。
	QRコード出力	異動届出と証明書発行に関する情報と手続き案内に関する質問回答の内容をQRコードで出力して、市民が来庁時に窓口でQRコードを提示することで、窓口支援システムに内容を取り込むことができること。
	QRコード暗号化	異動届出と証明書発行に関する情報と手続き案内に関する質問回答の内容をQRコードに出力する際、データは暗号化して、本市の窓口でのみ復号できること。
	ブラウザソフト	インターネット事前申請については、特別なソフトウェアを導入することなく、パソコンやスマートフォン等の一般的なブラウザソフト（Internet Explorer、Google Chrome、Firefox、Edge、Safari等）によるインターネット接続経由での利用ができること。
	利用機器等	タブレットのほか、スマートフォンやパソコンに対応可能なレスポンスデザインとすること。これに対応することが困難な場合は、受託者が責任をもって変更などに備えた環境を構築すること。
	インターネット接続環境	庁内の所定のタブレット設置個所において情報入力を行う場合は、当市のL G W A N接続環境及びインターネット接続環境を活用し、運用ができること。なお、ネットワーク構築にあたっては当市と協議のうえ決定すること。また、前述以外の環境はこの限りではない。
窓口受付機能	本人確認情報入力	窓口受付時に、届出人の種類（本人／世帯員／代理人）及び、本人確認書類の情報を入力して、異動届出書と証明書発行申請書に出力できること。 転出証明書をOCRで読み込むことができること。
異動届出書作成機能	異動届出書情報入力	異動届出書に必要な異動日、新旧住所・新旧世帯主、異動者の氏名・生年月日・性別・続柄・本籍・筆頭者等の情報入力と、誤りチェックが行えること。
	外国人異動者情報入力	外国人異動者の場合に、異動届出書に必要な国籍・在留資格・在留期間等の情報入力と誤りチェックが行えること。
	異動届出書備考入力	異動によって、異動元および異動先の世帯で世帯主変更が発生する場合、世帯員の続柄変更の内容を入力し、異動届出書に出力できること。
	異動届出書内容確認	異動届出書情報の入力において、異動者の情報や新旧住所等の情報を本市の申請書に基づいた様式でタブレット画面に表示し、市民が内容確認できること。
	個人番号カード券面情報読み込み	個人番号カード券面情報をスキャナで取り込み、異動届出書の氏名・生年月日・性別・旧住所等の情報入力が行えること。その際、市民が暗証番号の入力をしなくても取り込みが行えること。
	在留カード情報読み込み	在留カード券面情報をスキャナで取り込み、異動届出書の氏名・生年月日・性別・旧住所等の情報入力が行えること。
手続き案内機能	質問への回答入力	市民がタブレットで質問への回答を直接入力できること。また、職員がヒアリングした回答を代行して入力することもできること。

システム機能	機能項目	機能要件
手続き案内機能	手続き案内書出力	選択した手続きについて、手続きの名称や受付窓口等の情報を記載した手続き案内書を出力して市民に交付できること。
申請書作成機能	申請書一括作成	選択した手続きについて、住所・氏名・性別・生年月日・世帯主等の情報をあらかじめ印刷した本市様式の申請書を一括出力できること。
	申請書登録	一括作成の対象として以下の帳票（当市の総合窓口で現在取り扱っている帳票を含む。）の登録が行えること。 なお、住民異動届以外の届出においても前段の機能が利用できること。 帳票は、住民異動届のほか、住民票・印鑑登録証明・戸籍等交付申請書、印鑑登録申請書、個人番号カード券面記載事項変更届、電子証明書新規発行申請書、税証明申請書、土地・家屋を現に所有する者の届書、共有代表者変更の届書（死亡者用）、児童手当認定請求書、釧路市から転出される児童手当受給者の方へ（お知らせ文書）、児童手当受給事由消滅届、児童手当額改定認定請求書、国民健康保険被保険者資格証明書交付申請書、国民健康保険被保険者証再交付申請書、国民健康保険特定疾病受療証交付申請書、国民健康保険療養費支給申請書、国民健康保険高額療養費支給申請書、国民健康保険所得申告書、擬制世帯整理簿（国民健康保険）、出産育児一時金請求書（国民健康保険）、葬祭費請求書（国民健康保険）、身体障害者手帳交付申請書、身体障害者手帳再交付申請書、身体障害者手帳関係届出書、精神障害者保健福祉手帳申請書、精神障害者保健福祉手帳記載事項変更届・再交付申請書、自立支援医療（育成・更正・精神通院）至急認定申請書、障害認定申請書及び資格関係届書、療養手帳交付申請書、療養手帳再交付申請書、療養手帳返還届、療養手帳記載事項変更届、同意書（自立支援医療（精神通院））、自立支援医療（育成医療）至急認定申請書、重度心身障がい者医療費受給者証交付申請書、重度心身障がい者入院・通院の申立書、後期高齢者支給申請書（申立書）、後期高齢者医療限度額適用・標準負担額現額認定申請書、ひとり親家庭等医療費受給者証交付申請書、ひとり親家庭等の申立書、乳幼児等医療費受給証交付申請書、医療費負担区分変更申請書、医療受給資格関係届、介護保険申請書、サービス状況調査票、介護保険受給資格証明書交付申請書、介護保険被保険者証等再交付申請書、介護保険納付確認書交付申請書、転入学通知書 また、稼働時の対象帳票は本市にて検討を行い決定する。
	対象届出の拡張性	上記届出に限らず、庁内の手続きに関する届書の対応が可能であること。なお、その際の届出に必要な情報及び手続き内の内容変更などの要件設定等については、職員において簡易に行えることが望ましいが、職員が対応できない場合は、廉価な対応が可能であること。
	署名入力	市民がタブレット画面で申請書を確認して、電子的に署名入力が行えること。入力した署名は、異動届出書および一括出力する申請書の署名欄に出力されること。 なお、署名が行えない場合に、署名の入力を省略して申請書の印刷が行えること。
住民票・印鑑証明・戸籍等交付申請書作成機能	申請書情報入力	住民票・印鑑証明・戸籍等交付申請書に必要な申請者の氏名、住所、生年月日、通数等の情報入力と、誤りチェックを行えること。
	申請書内容確認	住民票・印鑑証明・戸籍等交付申請書情報の入力において、申請者の情報や申請内容等の情報をタブレット画面に表示し、市民が内容確認できること。
	個人番号カード券面情報読み込み	個人番号カード券面情報をスキャナで取り込み、申請者の氏名・生年月日・住所等の情報入力が行えること。その際、市民が暗証番号の入力をしなくても取り込みが行えること。
印鑑登録申請書	申請書情報入力	印鑑登録申請に必要な申請者の氏名、住所生年月日、通数等の情報入力と、誤りチェックを行えること。
	申請内容確認	印鑑登録申請情報の入力において、申請者の情報や申請内容等の情報をタブレット画面に表示し、市民が内容確認できること。
	個人番号カード券面情報読み込み	個人番号カード券面情報をスキャナで取り込み、申請者の氏名・生年月日・住所等の情報入力が行えること。その際、市民が暗証番号の入力をしなくても取り込みが行えること。
申請書印刷機能	申請書印刷	異動届出書および申請書をそれぞれの用紙種類に応じたプリンタ給紙カセットから自動出力できること。
受付情報照会機能	受付情報検索	受付情報を受付場所や届出種類や異動者氏名等の条件で検索して、照会できること。
管理・統計機能	メンテナンス	手続き案内および質問回答に関する情報をオンライン画面から登録・変更・削除できること。

システム機能	機能項目	機能要件
管理・統計機能	ユーザ情報管理	ユーザ情報をオンライン画面から登録・変更・削除できること。
	アクセスログ出力	任意の期間および対象者を指定して、いつ・誰が・どこで・何のためにデータを参照したかを記録したログデータを出力できること。
住記システム連携機能	住記情報取り込み	本市の住記システムから連携された住民情報を取り込み、異動届出書情報入力や、証明書交付申請書の作成に使用できること。
	注意情報取り込み	本市の住記システムから、異動不可・証明発行不可となるような対象者について注意情報を取り込み、窓口受付時に注意喚起できること。
	市外住所情報連携	市外住所マスタ情報を保有し、転入元住所や転出先住所、本籍地などの入力補助に使用できること。
	市内住所情報連携	本市の住記システムから市内住所マスタ情報を保有し、異動届出書作成時の新住所入力に使用できること。
	異動届情報連携	本市の住記システムが有する届出取込機能のインターフェースに合わせて、異動届データを連携できること。
	総合窓口情報連携	本市の住記システムが有する総合窓口機能のインターフェースに合わせて、手続き案内データを連携できること。
	連携に対する考え方	「住記システム連携機能」に掲げている各種取り込みについて、インターフェースに合わせて連携することが困難な場合は、RPAなどの機能を用いるなど別な手段で連携できること。